# 日本キリスト教団 東金教会〔４７〕

２０２０年１１月２２日 降誕前第５主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖　句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

## 【礼拝式次第】

| | | |
|---|---|---|
| 司式 | 藤田 | |
| 奏楽 | 中津井 | 久 |
| 受付 | 寺内 | 武 |
| 案内 | 田 | |
| 名札係 | 王 | |
| 礼拝感謝祈祷 | 木 | 五 |
| 〃　〃 | 田 | |
| 前奏 | 村 | 中 |
| 讃美歌７９ | 同 | 一 |
| 使徒信条５６４ | 〃 | |
| 交読文４４ | 会衆 | 司・ |
| 主の祈り５６４ | 同 | 一 |
| 聖書 | 者 | 司会 |

〈マルコ福音書６章１４節～２９節〉

| | | |
|---|---|---|
| 祈祷 | 田 | 藤 |
| 新聖歌３５６ | 同 | 一 |
| み言葉の伝え | 村 | 中 |

《洗礼者ヨハネの死》

| | | |
|---|---|---|
| 讃美歌３３８ | 同 | 一 |
| 献金 | | |
| 礼拝感謝 | | 王 |
| 〃　〃 | 田 | 五木 |
| 報告 | 田 | 藤 |
| 頌栄５４１ | 同 | 一 |
| 祝祷(派遣) | 村 | 中 |
| 後奏 新聖歌５８ | 隊 | 聖歌 |

## 【集会案内】

聖研祈祷会１１月２５日(水)午後7時半～
早天祈祷会7:00～メーヤー館(除・木/日/祭日)
臨時長老会本日礼拝後
ＣＳ教師会聖歌練習後
聖書輪読会１１月２９日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷１１月２９日(日)10:25-10:30

## 【報告】

☆本日は謝恩日として第二献金がございます。献げられました献金は隠退教職のご用にもちいられます。宜しくお願い致します。
☆クリスマスのご案内がございます。各自週報棚よりお取り下さい。尚、今年はコロナ蔓延の状況からスケジュールに変更がある場合もあります。ご了解下さい。
☆１１月１３日中里　　姉のお母上林　　様が帰天され、２０日鎌倉恩寵教会にてご葬儀が執り行われました。ご遺族みなさまの上に主のお慰めが豊かにございますようお祈り致します。
☆次週２９日は梅田　　先生説教、式中の幼児祝福式は中村牧師が司式です。礼拝後青年会クリスマスを第二会堂でもちます。 皆様是非是非ご参加下さい。宜しくお願い致します。
☆第２３回千葉支区信徒大会講演会のお知らせ
講　師・森下辰衛(三浦綾子記念文学館)
講演題・“はじめの愛と共に歩めば”
～三浦綾子・光世の５９年が語るもの～
日　時・2021年1月11日(月 成人日)13:30～
場　所・西千葉教会
※教会バザーは今日が最終日です。会場は幼稚園舎です。
※千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は土気あすみが丘教会(小林久美牧師)が対象教会です。お祈り下さい。
☆前1・2列の 聖歌隊は出来るだけ礼拝前に着座して讃美をお献げ下さい。

## 【１１月22日～28日の誕生者】

○11/24足立　　姉　○11/23井上　姉
○11/26中村　　兄　11/27今井　　姉
※主イエスに繋がる枝です。祈り合わせて参りましょう。

## 【先週集会状況】

| 集会名 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 主日礼拝(11/15) | 15 | 42 | 57 |
| 聖研祈祷会(11/18) | 4 | 1 | 5 |
| 聖書輪読会(11/18) | 2 | 3 | 5 |
| 教会学校(11/15) | 6 | 8 | 14 |
| | | | |
| | | | |

| 早天祈祷会 | | | |
|---|---|---|---|
| 日 | 男 | 女 | 計 |
| 11/16 | 1 | 1 | 2 |
| 11/17 | 2 | 1 | 3 |
| 11/18 | 1 | 1 | 2 |
| 11/20 | 1 | 1 | 2 |
| 11/21 | 2 | 1 | 3 |

主日礼拝献金(１１/１５)……６４,０００円
教会学校献金(１１/１５)……４,６００円

## 【今日のメッセージ】

題　〈洗礼者ヨハネの死〉
聖　書　マルコ福音書6:１４～２９
1・ヘロデの言葉

2・人間の心

3・からし種一粒の信仰

## 【次週(１１月２９日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈待望に招く〉
聖　　書 マルコ福音書１３：２４～３７
交読文４５
讃美歌９４番　５３０番
新聖歌５０番

## 【次週(11月29日)礼拝式当番者】

| | |
|---|---|
| 御言葉の伝え … | 村延 |
| 司式者 … | 村本 |
| 奏楽者 … | 村上 |
| 受付者 … | 村谷 |
| 案内者 … | 川論 |
| 名札当番 … | 村本 |
| 礼拝感謝祈祷 … | 岡 |
| 〃　〃 … | 阿波 |
| ｃｓお話し … | 森 |
| 会堂清掃者 … | 幼稚園教 |
| 〃　〃 … | |
| 花係 … | 中 |
| 看板書き … | 澤 |

## 【聖書から】

しかし、私は言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。
マタイによる福音書五章四十四節

今日の聖書個所では、「目には目を、歯には歯を」というハムラビ法典が引用されています。相手の片目を失わせたら代価として、自分の片目を差し出す。野蛮な法律に思えますが、この法律は過剰な報復を防止するための同害復讐法と呼ばれこの原則は古代から現在に至るまで幅広く浸透しています。現代でも相手に損害を与えたらその損害の分だけ賠償をします。「あなたがたも聞いているとおり」と、実は私たちも『目には目を、歯には歯を』また、『隣人を愛し、敵を憎め』という社会に生きてしまっています。奪われたらその分を奪い返さなければ気が済まない。隣人を愛し敵を憎むとは、自分を愛してくれる人のみを愛するということです。他人を愛したら、愛した分だけ愛されないと気が済まないということです。しかし、その中にあってイエス・キリストは今日の聖書の個所で、「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と私たちに教えられました。私たち人間は、そんなの無理だ、と思うかもしれません。しかしイエス・キリストは「我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく」と『主の祈り』を私たちに教えてくださいました。相手を赦す。私たちにはそれができます。できるからこそ、主の祈りをイエス・キリストは私たちに教えてくださったのです。神はその独り子をお与えになったほどに、私たち一人一人を愛されています。神は私たちを愛し、愛し抜いてくださる。旧約聖書を読むと、人間は神を裏切ったり、神に対して不満を言ったりしています。しかしイエス・キリストが十字架につけられたのは私たちの罪を贖うためです。贖うというのは、代償を払うということです。神ご自身が十字架で死ぬ、その命によって贖ってくださった。私たちは、神の大きな恵み、赦し、愛を私たちは受けています。今週の旅路、相手を赦し、敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りながら歩んで行こうではありませんか。

## 【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。